

第7回研究集会

第7号通信

新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～



日本LD学会第7回研究集会第7号通信をお届けいたします。
今号は、シンポジウム話題提供でご登壇くださる橋本創一先生のご紹介と、橋本先生にお話いただくASIST学校適応スキルプロフィールについて特集いたします。

登壇者紹介 ⑥

シンポジウム話題提供: **橋本創一先生** (東京学芸大学教授)

橋本先生は、本大会でご紹介いただく学校における適応行動を把握する「ASIST学校適応スキルプロフィール」の著者でいらっしゃいます。そのほかに、乳幼児期の言語コミュニケーション発達を評価する「LC-R言語・コミュニケーション発達スケール(改訂版)」、学齢期の言語コミュニケーション発達を評価する「LCSA学齢版言語・コミュニケーション発達スケール(増補版)」の著者のお一人でもあります。こうした適応行動や言語コミュニケーション行動などのアセスメント開発の研究を長く続けられており、加えて、その支援プログラムやSST(ソーシャルスキルトレーニング)などのご著書が多数あります。今回の話題提供では、教師や支援者が対象児の学校生活全般を通して観察・把握し、多領域にわたって分析・評価したうえで、具体的な支援につなげるアセスメントについてご紹介頂きます。



プログラム		
10:30 10:40	開会挨拶	小林玄 (東京学芸大学)
10:40 11:40	基調講演	上野一彦 (東京学芸大学名誉教授)
12:40	シンポジウム 新時代のアセスメント～認知特性と適応の視点から～	
	話題提供	・WISC-V 大六一志 (元筑波大学教授) ・KABC-II 小野純平 (法政大学教授) ・Vineland-II 黒田美保 (田園調布学園大学教授) ・ASIST学校適応スキルプロフィール 橋本創一 (東京学芸大学教授)
	指定討論	上野一彦 (東京学芸大学名誉教授) 藤野博 (東京学芸大学教授)
16:10		
16:10 16:20	閉会挨拶	橋本創一 (東京学芸大学)

【アセスメントと支援プログラムに関わるご著書】

- ・ちゃんと人とつきあいたい(2)ー発達障害や人間関係に悩む人のためのソーシャルスキル・トレーニングー (エンパワメント研究所)
- ・人間関係でちょっと困った人&発達障害のある人のためのサポートレシピア53ー本人と周囲がおこなうソーシャルスキルトレーニング (福村出版)
- ・アセスメントにもとづく学齢期の言語発達支援: LCSAを活用した指導の展開 (学苑社)
- ・言語・コミュニケーション発達の理解と支援: LCスケールを活用したアプローチ (学苑社)
- ・たのしくできるダウン症の発達支援アセスメント&プログラム [1巻ことばを育てる/2巻知能を育てる/3巻元気な体をつくる/4巻社会性を育む] (福村出版)



橋本先生には、
シンポジウムの話題提供でご登壇いただきます

話題提供関連コラム： ASIST学校適応スキルプロフィール

ASIST学校適応スキルプロフィール(福村出版, 2014)は、5歳幼児～中3生徒を対象として、学校適応スキル(学校生活に必要なスキルを集約)の獲得状況をプロフィール(到達学年・到達指数)として評価します。領域別に到達学年(AG)と到達指数(AQ)が算出され対象児の実態が把握できます。A尺度[適応スキルの把握](5領域各20項目:生活習慣、手先の巧緻性、言語表現、社会性、行動コントロール)、B尺度[特別な支援ニーズの把握](10領域全50項目:学習、意欲、身体性・運動、集中力、こだわり、感覚の過敏さ、話し言葉、ひとりの世界・興味関心の偏り、多動性・衝動性、心氣的訴え・不調)の2部構成の質問紙調査です。ICFの活動と参加に関連づけて、A尺度の5領域を個人活動と集団参加に分類し、2つのスキル群別に到達学年と到達指数も算出されます。B尺度は、学校適応しにくい行動や症状、現況、または特別な支援ニーズの有無を評価します。10の支援領域別に支援レベル(通常の対応が可能/配慮を要する/常に支援を要する、の3段階)を算出し、その得点を用いて、同時に、個人活動サポート因子と集団参加サポート因子に10個の支援領域を再配置し、2つのサポート因子別に支援レベルを算出します。また、個別の指導計画で区分される学校生活の支援ニーズ側面として、学習面/生活面/対人関係面/行動情緒面の4つのニーズ側面別に支援レベルを算出します。

事務連絡

《日程》 2024(令和6)年1月21日(日曜日) 《会場》 日本教育会館 一ツ橋ホール +オンデマンド

《研究発表(ポスター発表)》 オンデマンド配信 《参加費》 5,000円

《参加申し込み》

事前参加申込(会場・オンデマンド選択可) 2023年9月20日(水)～2024年1月5日(金) ← 終了いたしました
通常参加申込(会場・オンデマンド選択可) 2024年1月16日(火)～2024年2月12日(月) ← 開始が16日に変更になりました

残席がありますので会場参加も継続募集中です

参加費の納入期限 事前参加申込:2024年1月10日(水) 通常参加申込:2024年2月12日(月)

※「参加費の納入」をもって、申し込み完了とします。

お申込みはこちらから → <https://conference.wdc-jp.com/jald/ws2023/participant>

《特別支援教育士(S.E.N.S, S.E.N.S-SV)資格更新ポイントのお知らせ》

特別支援教育士資格更新規程に基づいてポイントが付与されます。

領域:特別支援教育士資格更新規程第2条V領域 ポイント数:参加者…2P

本研究集会の参加者ポイントについては、・会場参加の方:会場受付での来場確認・オンデマンド参加の方:オンライン会場へのログイン記録をもとにして運営事務局から特別支援教育士資格認定協会に申請します。

次号の発行は、研究集会当日のご報告を予定しております。会場で皆様にお目にかかれたいことを実行委員一同楽しみにしております。

一般社団法人日本LD学会
第7回研究集会(東京)実行委員会一同

